

News Release

平成 30 年 4 月 3 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

京葉ガス(株)に対し、 「DBJ BCM 格付」に基づく融資を実施

- 3 回連続で最高ランクの格付を取得 -

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、京葉ガス株式会社（本社：千葉県市川市、代表取締役社長：羽生弘、以下「当社」という。）に対し、「DBJ BCM 格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ BCM 格付」融資は、DBJ が開発した独自の評価システムにより防災および事業継続対策への取り組みの優れた企業を評価・選定し、その得点に応じて融資条件を設定するという、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、千葉県北西部の市川市・船橋市・松戸市等 10 市を供給区域とし、約 90 万戸の需要家に対する安定供給を担う都市ガス事業者です。東日本大震災の経験を教訓に、中期経営計画の中で保安・防災対策の高度化、供給基盤の強靱化を重点課題と位置付け、全社的な防災・事業継続体制を構築・強化しています。

今回の評価では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 緊急保安研修センターの運用開始（平成 29 年 7 月）による保安高度化の推進、非常体制要員メンバー向けの徒歩参集訓練の再開や定期的な自治体等との合同訓練の開催等、保安・防災強化へ不断の努力を継続している点
- (2) 災害復旧支援モバイル報告システムの早期導入や着実な導管の耐震化工事等による復旧対応力の高度化を通じて、従来の目標復旧日数の大幅な設定期間の短縮化を試行し、BCP への反映を企図している点
- (3) 従来年 1 回であった地震訓練を、全社一斉地震訓練と班別地震訓練の年 2 回へ強化するとともに、毎年の訓練テーマを明確化したうえで全体訓練を実施することで、全社を挙げて目的意識の高い訓練を実践している点

その結果、当社は「防災および事業継続への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を、平成 27 年、平成 28 年に続き、3 回連続で取得しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、有事における事業継続の推進に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

企業金融第 5 部 電話番号 03 - 3244 - 1620